

1 主題名

本当の親切【親切、思いやり】小学校 高B（7）

2 ねらいと教材

（1）ねらい

ロベータに対するジョルジュじいさんの心温かい行動に込める思いを考えることを通して、相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てる。

（2）教材名

「最後のおくり物」（学研教育みらい「新・みんなのどうとく」6年）

3 主題設定の理由

（1）ねらいや指導内容についての教師の捉え方

本指導内容は、よりよい人間関係を築く上で求められる基本姿勢として、相手に対する思いやりの心を持ち、親切にすることに関するものである。相手に対して思いやりの心をもって接することは、よりよい人間関係を築く上で不可欠である。思いやりとは、相手の気持ちや立場を自分に置き換えて推し量り、相手に対してよかれと思う気持ちを相手に向けることである。学校生活においては、学校の人々や友達など直接的に多様な関わりをする中で、相手の立場を考えたり、相手の気持ちを思いやったりすることを通して、思いやりや親切な行為を実感できる機会をつくっていくことが大切であると考えている。

（2）児童のこれまでの学習状況や実態と教師の願い

6年生になり、最上級生として下級生のお手本となりお世話をしあげたいという気持ちが高まった。相手の置かれている状況からその人の立場や思いをつかもうと、自分なりに考えて行動しようとする姿は見られる。しかし、その状況に気づくことが難しい児童もいる。また、発達段階として自他を客観的に捉えることができ、相手の置かれている状況を自分自身に置き換えて想像できるようになっている一方、遠慮や恥ずかしさから手を差し伸べたいとは思っているものの、親切な行為に結びつかないこともある。そこで、どのように接し、対処していくのが相手のためになるのかよく考え、相手の立場に立って親切にすることの大切さに気づいてほしいと考える。

（3）使用する教材の特質や取り上げた意図及び具体的な活用方法

本教材は、主人公ロベータが、俳優になるために経済的援助を受けていたジョルジュじいさんからの最後の手紙を読んだことで、自分への温かい思いやりに気づき、自分本位の考え方ではなく人を思いやる生き方をしようと決心する話である。導入では、自分自身の生活で自分が思っている「思いやり」について事前アンケートの結果を確認し、今日の授業で考えていく価値について確認する。展開では、ジョルジュじいさんの行為は、相手に余計な心配や気遣いをさせまいとする思いやりの心が根底にあることに気づかせるための基本発問を行う。最後にはジョルジュじいさんの思いやりは、見知らぬ相手に向けられたものであり、その温かな心の在り方についても考えさせるようにしていきたい。また中心発問でもある「最後のおくり物とは何か」について、どういうことなのか道徳的価値の理解を深めながら主題に迫っていく。終末では、今年のオリンピック開催中に実際あった金メダリストとオリンピックスタッフの間での思いやりの行動を紹介し、相手の状況や立場を考えることの心情を育てていくようにしたい。

4 学習指導過程

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点
導入	1 自分が思っている「親切について」を確認する。	○みんなが思っている「親切について」のアンケート結果です。 ・心配してくれる	・事前にとったアンケートを提示し、ねらいとする価値への意識付けを行う。
展	2 教材を読んで考え、話し合う。	○ロベータは、どんな気持ちで月謝代を受け取っていたでしょうか。 ・もらっていいのかな ・だれがくれたんだろう ・もらえなくなったら困る ○ロベータが「息子なんです」ときっぱりと言えたのはなぜでしょう。 ・ジョルジュじいさんだったから ・今日までお世話になったから ・つぐない、恩返し ○最後の手紙を読んでロベータは何を決意したでしょう。 ・よし！ジョルジュじいさんのために俳優になろう ・この気持ちを受けて頑張りたい ・ぼくもジョルジュじいさんのように誰かのためになりたい	・ロベータが始めはもらっていいのかと迷いつつも、養成所に通うために受け取り、その後必要と感じて受け取り続けていたことを押さえる。 ・ロベータのジョルジュじいさんに対する感謝の気持ちに気づかせる。 ・ジョルジュじいさんが最後に残した手紙を受け、ジョルジュじいさんの思いやりに気付き涙するロベータの気持ちを考えることで次の発問につなげる。
	3 「本当の親切」について考える。	◎ロベータへの「最後のおくり物」とは何でしょう。 ・手紙 ・ジョルジュじいさんの思い ・がんばってほしい気持ち ・相手のことを考えて行動する気持ち ・誰に対しても思いやる気持ち ◆でも、そこまで思いがあるんだったらジョルジュじいさん直接言ったらよかったんじゃない？	・思いやりには、様々な伝え方があると同時に相手の立場に立って考えることによさに気付けるようにする。 ・短冊に書き、全体共有することで、価値についての考えを深め、「最後のおくり物」がどのようなものかを考える。 ・ジョルジュじいさんから受け取った思いと同時にロベータも最後にもらった温かい思いやりも考える。
終末	4 本時の学習を振り返るとともに、動画を視聴する。	・今日の授業で考えたことをノートに書いてみましょう。 ・今年行われたオリンピックとスタッフのやりとりを見てみてください	・今までの自分、これからの自分と照らし合わせて考えられるようにする。

【評価】

- ・「思いやり」とはどのようなものかについて考え、相手の立場に立って親切にすることの大切さを感じている。(発言・ノート)